

# Libra | on 8

<http://www.libra-sc.jp/>

vol.

りぶらいおん

## 特集：海堂尊氏講演会録



第17回愛知まちなみ建築賞受賞  
岡崎市図書館交流プラザLibra（りぶら）

表彰式/2010.2.10/愛知芸術文化センター/アートのスペース  
建築主/岡崎市  
設計者/佐藤総合計画+千里建築設計事務所



  
りぶら  
岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称：Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。  
りぶらサポータークラブ(LSC)は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。

# 海堂尊氏講演会録（概要）

## テーマ「海堂尊ができるまで」

日時：平成21年12月5日（土）

14:00～15:30

場所：Libraホール

海堂尊氏プロフィール

千葉大医学部出身の病理医。現在千葉市内の研究機関に勤める医師で作家。著書に『チーム・バチスタの栄光』『ジェネラル・ルージュの凱旋』などがある。

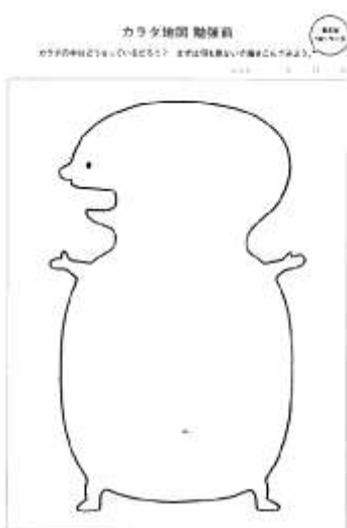


### はじめに

こんにちは、海堂尊です。今日は私の講演会に来ていただいて、本当に有難うございます。このテーマは私がつけたのではなく、こういうテーマで話をしてほしいという依頼がありました。それにおこたえずべく、つじつま合わせに関して天才といわれている私が、いろんなことを好き勝手言いながら、最後はつじつま合わせで、海堂尊はこうやってきたんだな、と納得していただけるようにお話しをさせていただきます。

### 1. 無知は罪

お手元にチラシがあると思うのですが、内臓の絵を描いてもらえますか？ 私は、これを「カラダ地図」と呼んでいるのですが、これをきちんと描ける日本人が、実はいないんです。これが描けないというのは、日本の大きな問題点を露呈していて、いわゆる「無知は罪」ということになるわけです。



人は誰しも最初は無知であり、知らないものは知らない。生まれた時はみんな無知です。そして、学んでいくことで無知ではなくなっていく。つまり無知であること自体はまったく恥ずべきことではなく、問題なのは、無知でいるままの状態を放置することです。

「カラダ地図」を描くために大切な臓器は、ただだか10から20くらいしかありません。15の臓器の名前とその形と位置が描けて、その関係性が描ければ、誰にでも描けてしまうわけです。

「カラダ地図」が描けるようになることに関して、なんのためになるのかといいますが、それは、正直私にはわかりません。でも、気になる相手から「ちょっとカラダ地図描いてみてよ」といわれたときに、描けない男と描ける男のどちらがえらばれるかということなんじゃないかなと思うわけです。

今、医療崩壊が叫ばれています。みんな医療を何とかしなくては行けない、医療現場がかなり疲弊しているといえます。私は、その大きな要因の1つが、自分たちで対処できることまで医療に寄りかかっているせいではないかと考えています。どうすれば医療の疲弊を防げるのか？ それは、自分で何とかできる部分は自分で何とかするということです。

たとえば風邪をひいたときに、2・3日寝れば治る風邪だと自己判断できれば、医者にかからず自宅で寝ていられます。すると、医者は、風邪の患者さんを診るという仕事量が減ります。そう考えていくと、市民が医療の基礎知識を身につけていくということが、医療崩壊を阻止するための特效薬となるのです。

それを突き詰めて考えていくと、自分の体がどうなっているかを知ること、つまり「カラダ地図」が描けるようにことこそが、気になる相手を振り向かせることだけではなく、医療崩壊を防ぐ第一歩になるということです。

### 2. 境界線

#### (1) 胸と腹

実は、「カラダ地図」を描く時に一番大切なことがあるんです。それは横隔膜を描くことです。これを描かないと、「カラダ地図」をきちんと描くことができません。横隔膜は、胸と腹の境界線なんです。境界線が描けなければ、描けるわけがないんです。

境界線をきちんと描くことによって胸と腹がくっきり分かれ、自分自身の身体のイメージを持つことができます。これはすごく大事なことで、一番大事なはその境界線に「気づかない」ということなんです。

気づいた瞬間から学べばいい。それこそが大切なことなのです。結局、本を読んだりすることは、気づくことを求めているのです。物語を読んだときに、自分が知らなかった何かに気づく。そこから新しい世界が広がります。だからみんな本を読んでいるわけですし、本を読みなさいといわれるのです。

横隔膜を描けるかどうか、市民の医療に対する理解推進と医療従事者への負担軽減のための、極めて合法的かつ無理のない方法の第一歩なのです。

そして、社会制度の中には医療と医学というものがあり、これにも境界線があります。ここから、医療と医学の境界線についてお話しします。

## (2) 医療と医学

医療と医学は違います。「医療」というのは、患者の治療を医学で行うことで、対象は生きてる人です。それでは、「医学」とは何でしょう？ 死を学ぶということです。しかし、死んでる人からお金をもらうことはできません。死んでいるから、当然本人が払うことはできないわけですね。そこで、医学にお金を出資するにはどうすればいいのか、ということになります。だから、国や投資家に出資していたくしかないのですが、ここにお金が入る仕組みができていないことが、医学の最大の問題なのです。

医学もお金を入れないとやせ細ってしまいます。そして、医学を学ばないことで医療がどんどんやせ細っていきます。しかし、医療費から出そうとすると、生きてる人と死んでる人のどちらが大切なんだということになり、お金がまったく入らないシステムになっています。これは、国がなんとかしなくてはならない問題なのです。

## (3) 医療と司法

次は、もう1つの社会システムである医療と司法です。この境界線がAi(※)です。死体の体表を見て、警察が司法解剖かどうかを決めます。事件性がないと思ったら、警察は司法解剖をしません。その結果、日本で現在解剖されているのは2.7%でしかありません。

本来なら、事件性があるかどうかを判断するために解剖が必要なのですが、すべての死体を解剖するわけにはいきません。そこで、死亡時の画像を診断するAiの導入を提唱しているのですが、法医学者は、Aiを「死亡時画像」といって、ただ死亡時の画像を取るだけのシステムに落とし込みようとしています。

しかし解剖学者は、「死亡時画像」としてAiをやりたがっています。彼らは、Aiは死因のわかる確率が低いから、解剖を必ずしなければならぬといっています。つまり、解剖学者がAiをやると診断をしないんです。なぜなら、解剖と画像の診断は全く別の分野だからです。

診断ができないから、解剖を担当する人は死亡時の画像を見ても何もできません。だから死亡時の画像診断は、解剖学者ではない画像診断のできる医療現場の医療従事者がやるしかないのです。

私はAiの原則として、「死亡時画像診断」を

医療従事者が医療現場の最終ポイントで行い、費用は医療費外から医療現場に入れるという「Aiプリンスブル」を一貫して提唱しています。

しかし、官僚はこれを飲むことをしません。それはおかしいと批判をすると、訴えられたりします。本当に減茶苦茶な世の中だと思えます。基本的な議論のない世界で、一部の人がちがが好き放題をしている、というのが現在の日本の現状なわけです。

## 3. 死因不明社会

3つの境界線のお話をしました。「胸と腹の境界線」「医学と医療の境界線」「医療と司法の境界線」。これはどれも、境界線を曖昧にすることで、ほかの領域から不当な利益をおこし得る人たちがいるということです。

そういう人たちに対抗するには、正しいロジックを常に言い続け、支持を集める必要があります。例えば、Aiを医療のエンドポイントにおき、解剖を司法の方に置く。そうすると、Aiで解剖を監査することができます。

そうしないと、自分たちに都合の悪い死因は公表しないというようなことになり、司法独走の元となります。これは画像診断を医療に任せてもらえば防げることなのです。

こういうことがしっかりとしていないことが、「日本は死因不明社会である」と言われている要因の大きな1つです。

## 4. 物語は何のために書くか

私がこういう場でお話をさせていただくようになったのは、全て『チームバチスタの栄光』を書いたお陰です。それは、ミステリー大賞を受賞したことで多くの人を読んでくださったというので、やはり、多くの共感や支持がなければダメなんですね。

そして、何のために物語を書くのかということですが、それは、自分にとって書くことが楽しいからということに尽きます。しかし、『ナイチンゲールの沈黙』以降は、出版をしてもらえろという前提がついたので、「多くの人に楽しんでもらえるように」という目的が変わりました。だから私がエンターテインメント作家になったのは、『ナイチンゲールの沈黙』からということになります。その前は、ただの趣味的な物書きだったというわけです。

それと、私は医者なので、実は人の生死をた

くさん見えています。死というのは本当にあっさり来るものです。だから私には、「生きてるうちに楽しく生きよう」というラテン的な考え方が根っこにあります。作家として生きていられるのは、作品を出している間だけです。だから、作品を書けない作家は死んでいるということになります。当たり前のことなのですが、私も作品が書けなくなったら、作家を辞めるしかないと思っています。

「自分が楽しむために書く」というのは、根底に必ずありますが、みなさんにも楽しんでいただきたいと思っています。そこで、みなさんをお願いしたいことは単純なことで、「せっかくお話を聞きに来たんですから、1冊くらいは買って読んでくださいね」ってことです。それ言わないと、うそ臭いじゃないですか。1冊読んで面白かったら、全部読んでね(笑)。



## 5. 最後に

壮大な物語世界の全部をつなげろという無謀なチャレンジをしているのですが、最近あちこちで、矛盾や何やらが吹き出してきて、苦しい思いをしています。そもそも、なぜ、書く話を全部同じ世界で統一するという構造を考えたかという、私たちが住んでる世界はひとつであって、替えがきくことはありません。私たちはそれぞれの人生において、自分が一番の主演です。そういう見方をすると、世界は1つだといえます。物語の中でも、世界を1つにすることができるだろうし、1つにすれば、実際の世界とシンクロさせることができるだろうと思ったんです。

実際の社会でも、自分の知らない世界が多くあります。そのような実社会のいろいろを物語世界の中で再現しようという、非常に高度な文学的試みをしている先進的な作家であると、皆さんは海堂尊を理解してください。

(※) Ai: Autopsy imaging (死亡時画像診断)  
CTやMRIなどにより撮影された死後画像から、死体にどのような器質的病変が生じているかを診断することで、死亡時の病態把握・死因の究明などを行うシステム。

# パネルディスカッション

パネラー：海堂尊 氏

〈海堂尊氏講演会実行委員〉

松本 拓 社会人、最年長。

望月海希 中学1年生、唯一の女性。

林 侑宏 中学1年生、読書が趣味。

鈴木 隆 新成人、作家志望。

司会：戸松恵美 りぶらサポータークラブ



——8月に実行委員を募集し、3回の実行委員会を経て、この場に立っていただいております。様々な年代の皆さんの、講演の感想や質問事項などに答える形で、海堂先生にご発言をお願いします。



松本：医者としての自分と作家としての自分、実際はどちらになりたかったのですか？

海堂：大学受験をするというときに学部を決めなくてはいけないということで、哲学か医学をやりたいと思っていました。哲学は自分で学べるけれど、医学は誰かに教わって学ぶものだから医学部にしようと思い、浪人をしてやっと医者になりました。

ほくは、作家になりたいと思ったことは一度もないんですよ。でも「人は誰でも生まれてから死ぬまでに一つは物語が書ける」という言葉があって、死ぬまでに一冊は本を出したいという希望はあったんです。だから、医者になりたかったわけでも、作家になりたいわけでもなかった、という答えになります。

望月：海堂さんの作品にはいろいろな個性的な登場人物が出てきますが、先生自身はどの人物に似ていると思われますか？



海堂：取材を受けて、その取材が30分だと「田口先生に似てますね」って言われます。ただ、1時間を越えると「白鳥さんに似てますね」って言われます。ほくに聞くより、会場の皆さんに聞いた方がいいと思います。

林：中学生時代のとき、好きな教科は何でしたか？

海堂：基本的に考えたことがなくて、勉強は適当にやっていたという感じです。中学校時代は特にそうでしたね。自分は何ができるんだろうかと考えては、何もできないんだなあと思ったりしていました。ただ、本はよく読んでいたと思います。

鈴木：収入の方は？

海堂：これが、オンステージの生の声の怖いところでしてね(笑)。野球選手みたいなものですので、永續するわけじゃないんですよ。だからみなさんも、そこのところをよく理解しておいてくれると助かります。それと、文庫化が始まってからは自分でもよくわかんなくなっているんですよ。単行本のときは、ある程度まとめて出てくるんですが、文庫化のときは、昔書いたやつが出稼ぎに行ってるなー、という感じです。

——先ほどの講演で、会場の参加者から「最近作品の中にAiについての主張が強く感じられるということで、今後その方向性が続きますか？」という質問がありました。

海堂：Aiに対する主張が作品に強すぎる、という批判は当然かなりあります。そもそも、ミステリー作家になったときにニヤリとすることがあります。ミステリー小説で殺人が起こるものは、必ず司法解剖が行われているわけですから、これまでのミステリー作品を全部バクって、そこにAiを入れることで、私は新しい作品を無限に書くことができると思ったわけなんです。例えば、西村京太郎先生の『信濃路殺人事件』と『ブルートレイン殺人事件』を『信濃路Ai殺人事件』や『ブルートレインAi殺人事件』として書けば、無限システムができる。だから、当然Aiの主張は強くなるということですね(笑)。

——「医者としてのお仕事、研究者としてのお仕事、小説家としてのお仕事はどのように分けてなさっているのですか？」

海堂：それは全部一体化してますね。お腹が空いたら食べるし、眠くなったら寝る。風呂に入りたと思ったら入る。生活することと同じように、そのときやりたいことに集中しています。ただ社会生活をしているので、やりたいと思った欲望を少しだけ抑えることができる。その間に日程を調整して、それぞれに集中できる時間を作るという感じですね。

望月：本に書いた人物と、ドラマで起用された俳優さんとの、イメージの違いはありますか？

海堂：映画では、男の田口が女性の竹内結子さんになってますから、小説の中の人物は、イメージ通りってというのは、基本的にない存在だと思っています。田口はしたたかな中年男だけど、映画では若い女性。テレビでは頼りない男性に変換されましたよね。ようするに、変換しないと画像化ができないんだろうなと思っています。

鈴木：先生の座右の銘は？

海堂：物議を醸す。

鈴木：意味は？

海堂：黙ってればいいものを(笑)。



——今の「物議を醸す」ということで、「大手マスメディアなどは、医療への無知による誤解・曲解を助長しているのが目立ちます。これに対して、勇氣ある発言者として、どのようなスタンスで望まれているのかを教えてください」という質問がありました。

海堂：メディアというのは人気稼業ですから、これに対して、正論を持ってこうあるべきといっても敵いませんので、いい主張だけ書いて、後は我慢するという感じですかね（笑）。

——それから、「官僚を批判している一方で、白鳥さんのような人が出てくるっていうのはなぜですか？」という質問もありました。

海堂：願望じゃないですかね。私の官僚批判っていうのは、官僚上層部なんです。前に、厚生省の死因究明制度に関する検討会というのがあって、傍聴していたら、厚生労働省の若い方が『ジェネラルルーシュの凱旋』を取り出して、「サインしてください」って言われたんですよ。そのときは、サインした瞬間に後ろからドスッと来るかと思いましたね。

ようするにですね、特に官僚世界っていうのは、上層部の劣化が激しいんじゃないかと思ってるんです。官僚の下の方の人も、ぼくらが抱いてるのと同じ種の苦痛を抱いていると思うんです。だから官僚批判といっても、一部上層部のこと。これは学会もそう。

松本：若い世代は、ネットや映画・映像などの普及によって活字離れといわれ、本を読まない人たちが増えていますが、それについてはどう思いますか？

海堂：しょうがないんじゃないかなって思ってますね。本を読むという行為は孤独な行為ですし、もともと本が流行っていたころというのは、映像などがなかった時代だったので、楽しめるものが増えたら、それを楽しむのが人間の性だと思えますね。だから私の最大の敵は、ディズニーランドでありドラクエだなど。

それらにも負けずに、まずこちらを優先してもらえるようなものを書くということが、物書きに要求されていると思います。ただ、その部分を認識してる人は少ないんじゃないかなっていう気はします。

林：これから本を書くことを続けたいですか？



海堂：続けたいっていうことよりも「書きたいものがあるって、それが書ける間は書く」なので、「続けたい」ではないですね。

——「海堂先生と図書館の関係は？」

海堂：むかしから図書館は大好きでしたね。ただ、物を書く立場からすると、図書館が一部のベストセラー作品を、用が済むと一定期間後にリサイクル本として放出するというのは、ちょっといかなものかと思えますね。図

書館っていうのは、資料館という意味合いがあるわけですから、希少本とか発行部数が少ない本とかを置くべきで、売れる本をニーズだからといって大量に置くということは問題かなと思います。

つまり、ベストセラー本を仕入れて多くの人に回すっていうのは、本当に求められる公共性なのかということを開いてみてほしいなっていうことはあります。

——今後の活動について、お聞かせ下さい。

海堂：『ジーンワルツ』が映画化されて、俳優として第2弾デビューしました。パチスタのときに、患者さんを運ぶチョイ役で俳優デビューをしたんですよ。また出ますか？って聞かれたから、オファーがあればいいのに、2作目の『ジェネラルルーシュの凱旋』ではオファーが来なかった。だからもう俳優の道は諦めようと思っていたのですが、『ジーンワルツ』でオファーをいただきまして、喜んで行きました。でも、教授回診の随員で、やっぱり台詞はありませんでした。秋に公開予定ですので、ぜひ観てください。

鈴木：最後に収入の方は？

海堂：一度答えたら、ちゃんと理解してください。人生にチャンスは二度ないよ（笑）。

## 私の一冊 vol.6 『しがみつかない生き方』香山リカ著（幻冬舎新書）



漱石の「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される」ではないが、とかく住みにくい世の中になったものである。久しぶりに新刊書でも読もうかと、書店でふと目に止まったのがこの本である。なにも特別目立ちたいわけではない、全世界から賞賛されたいわけではない、みな十人並みの人生で普通の幸せが手に入ればいいと思っている。それなのにその十人並みの人生さえ送れずにいる、そんな人が急増している今の世の中である。

著者は専門である心理学の立場から、「しがみつかない生き方（普通の幸せを手に入れる10のルール）」について、興味深く分かりやすく書いている。

恋愛論から始まり、生まれてきたことの意味に至るまで、逆説的な切り口で、要は人生のいろいろな場面で「こだわりが大き過ぎるんじゃないの？」と問いかけている。こだわりがあるから自らを呪縛してしまい、結果として十人並みの幸せが手に入らないということだ。

この書の中で、私の年代として特に印象に残ったのは、人は年齢と共に、身体的にも精神的にも、年齢相応の成熟や老化をきちんと果たすることが大切である、ということだ。妙に心が若すぎると、周りにも迷惑をかけ、自身が窮屈になるということだ。

若い人から高齢の方まで、この書はそれぞれの場面での人としての人生の過ごし方について貴重なアドバイスを楽しく語ってくれている。是非ご一読をお薦めします。

山本佳明（やまもとよしあき）



LICC国際交流自主事業委員会顧問。企業を定年後、昨年まで大学講師として留学生に日本語を教える。企業時代から国際交流ボランティアや国際化推進委員として活動。現在、岡崎市に在住する外国の方に日本語を指導。

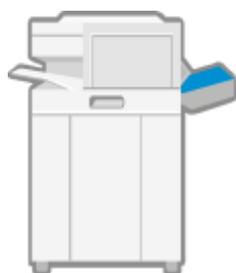
## りぶら中央図書館情報

### ご存知ですか？ こんな図書館サービスあります 複写サービス

中央図書館には、現在、ポピュラーライブラリーとレファレンスライブラリーに各2台、子ども図書室に1台のコピー機が設置されています。所蔵している図書資料について、利用者の皆さんからコピーの依頼があった場合に、著作権法の許す範囲内での複写（有料）ができます。

この、利用者の皆さんからのお求めに応じての「著作権法上の許す範囲での複写」とは、法の条文では次のように記されています。

「…その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複製物を一人につき一部提供する場合」（著作権法第31条第1号）



中央図書館の場合、通常は、その図書の半分まで複写が可能としています。しかし楽譜や住宅地図のように、1曲あるいは1ページが一つの著作物とみなされる場合には、実際に入手したい箇所の半分までしかコピーできないこともあります。またインターネット上のデータベース等についても、著作者に認められたものしか印刷（有料）できません。

なお、コピーにはカウンターでの申請が必要です。詳しくは図書館スタッフにお尋ねください。コピー機なしで過ごすことはあり得ないくらいの世の中ですが、公共図書館として、法に基づいて館内でのコピーには制限をかけていることをご理解ください。

### レファレンス事例集③

岡崎市立中央図書館で、これまでに受けた資料相談事例を紹介します。

「へえ～、図書館でそんなことがわかるの!」と感動(?)できるネタ満載ですよ。

質問	志賀重昂の「三河男児の歌」の漢詩碑の全文が、写真または拓本で収録されている資料があるか。
回答	「愛知の文学碑」p.245に掲載の碑の、写真と読み下し漢字かな混じり文が所蔵資料の中で最も大きかった。もっと大きなものが必要であるということで、岡崎市郷土館に問い合わせたところ、岡崎市美術博物館の収蔵庫に拓本の軸装があり、目的によっては、文書申請により複写が可能とのことであった。
プロセス	まず、文学碑についての資料をあたって、写真が掲載されているものはあったが、小さい写真が多く、「愛知の文学碑」の写真が最も大きい。志賀重昂の関連資料、郷土の歌についての資料を見たが、該当の資料は見つからなかった。
参考資料	「愛知の文学碑」愛知県郷土資料刊行会 1979年 「東海の文学碑」「愛知の文学」「岡崎の碑林」「岡崎の文学」「志賀重昂 人と足跡」 「ふるさとの歌」 パンフレット「三河男児歌」

## 内田修ジャズコレクション情報

### 「毎日がジャズ！伝説のドクターズ・スタジオでジャズレコード試聴」

りぶら開館日の毎日2回開催（10：00～/19：30～）、入場自由

内田修ジャズコレクション展示室では、内田氏が実際に使用していたオーディオ機器を使い、ジャズレコードをお聴かせするミニコンサートを、2月から毎日2回開催しています。目の前でミュージシャンがプレイしているかのような、大迫力のサウンドをお楽しみいただけますよ！

#### 開催概要

試聴は1回につき1枚のレコード（1日1枚）です。内田修ジャズコレクションにあるレコードであれば、リクエストに応じます。また、持ち込みも可能です（SP盤不可）。

リクエストまたは持ち込み試聴希望のかたは、①来館希望日②レコードが特定できる情報（アルバム名・アーティスト名など）③連絡先（電話・ファックスまたはメール）を、ファックスまたはメールで、お早目にお知らせください。レコードの確認後、連絡いたします。当日受付はできません。

FAX(0564)23-3165(中央図書館資料活用班)



伝説のスピーカー  
エレクトロヴォイス社  
「パトリシアン800」

最低音を受け持つウーファアの口径は76センチ！箱の外装は、当時のドクターズ・スタジオの内装に合わせた、無垢のチーク材のオイル仕上げです。

## りぶら映像アーカイブス

岡崎市立中央図書館2階の視聴覚ブースでは、ビデオやDVDなどの館内資料だけでなく、年代別にアーカイブ化された岡崎に関する貴重なニュース・番組映像を視聴することができます。懐かしい映像のなかに、ひょっとして、あなたも登場しているかも？！

#### 紹介映像③「二七市の残る街角」

NHK日本まん中紀行

放送年：平成6年(1994年)



毎月「2」と「7」のつく日（下一桁）に、りぶらからほど近い八幡通りを中心に開催される二七市（ふないち）。昭和30年代から続くこの市を担う人々の姿を記録した約30分の番組です。

毎回市を楽しみに訪れるお客さんとお店の人々との間で交わされる、単なる商品の売り買いだけでない人情味あふれる交流は、昨今の機能重視の大型ショッピングセンターでは見られない光景であり、日本人の心の風景としていつまでも続いてほしいと願わずにはいられません。

## りぶらイベントカレンダー

市主催の事業

こども図書館のイベント 23-2311			
毎週火曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのもり ころころくまさん
毎週木曜日	11:00～11:30	おはなし会 赤ちゃんとその家族	■無料・おはなしのもり ころころくまさん
毎週木曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
毎週土曜日	14:30～15:00	おはなしと紙しばいの会	■無料・おはなしのもり ころころくまさん
第2・4月曜日	16:00～16:30	おはなしと紙しばいの会	■無料・職員
月1回土曜日	13:00～	外国語の読み聞かせ	■無料
内田ジャズコレクション TEL23-3167 Fax23-3165 メールdr-jazz@m2.catvmics.jp			
毎日2回 10:00/19:30	毎日がジャズ！レコードコンサート ～伝説のドクターズ・スタジオで、ジャズレコードを試聴		■内田ジャズコレクション展示室 ■無料 ■リクエスト用紙に必要事項を記入してスタッフに 申込／メール・ファックス可
岡崎むかし館 TEL23-3167 Fax23-3165			
第4木曜日	16:30～17:00	岡崎のむかしばなし・紙芝居	■無料 岡崎むかし語りの会
1月14日(木)～ 3月23日(火)	企画展「からくりおもちゃの世界 ～からくりで学ぶ知恵と工夫～」		■岡崎むかし館
3月13日(土)	14:00～ 15:00頃	からくりおもちゃ実演 からくりおもちゃ工夫人磯谷栄一氏による 解説と実演	■岡崎むかし館
岡崎市図書館交流プラザの催し 23-3100			
第2・4土曜日	13:30～16:30	りぶらジュニアジャズオーケストラJr. 岡崎 Beanzz(ビーンズ)募集	■小学4年～高校生 ■24,000円(平成22年度分) ■3/28日までに申込 ■詳細は募集要項をご確認下さい
3月14日(日)	14:30開場 15:00開演	Beanzzファーストコンサート	■ホール ■総合案内にて 2/27(土)より整理券配布
4月24日(土)	16:00開場 16:30開演	春風亭小柳枝独演会 ～江戸の古典落語を聴く～ 演目:井戸の茶碗 ほか	■ホール ■3,000円(全席自由) ■2/14よりチケット販売開始 取扱場所:総合案内／電子チケットぴあ (0570-02-9999) ぴあスポット、サークルK、ファミリーマート、サンクス各店でもご購入いただけます。
5月15日(土)	15:15開場 15:30開講	守屋順子ジャズ講座 …これからジャズを楽しむための 入門講座…	■ホール ■参加料:学生・女性1,000円 男性1,500円 ■未就学児の託児あり(チケット購入時に申込) ■3/6よりチケット販売開始 取扱場所:総合案内
市民活動総合支援センターの講座 23-3241			
3月14日(日)	10:00～12:00	【女性のための健康講座】 「更年期なんて怖くない」～からだの メカニズムを知ろう～	■一日のみの参加も可 ■3階会議室 ■対象:市内在住・在勤の方 ■各回60人(抽選) ■往復ハガキで申込(3/26必着) ■育児あり
3月20日(土)	10:00～12:00	【女性のための健康講座】 ココロの手当～心が疲れたとき～ 講師:愛知県立大学教授 岡本和士氏	
1/31、2/7・14・21、3/7・14・21・28 の日曜日 10:00～12:00		新米コック・おとこの料理教室Ⅱ	■調理室 ■4800円 ■24人(抽選、初めての方を優先) ■対象:市内在住・在勤の男性/全日程参加できる方 ■往復ハガキで申し込み、1/8必着

スポーツ大学講座 23-7644			
3月13日(土)	18:30~20:00	ひざ・腰・肩が楽になる 一生7秒健康体操 中京大学体育学部長 医学博士 湯浅景元	■301~303会議室 ■170人(抽選) ■はがきに、全員の①電話番号、住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号⑤希望講座番号(複数可)を記入し、下記 〒444-0854 市内六本町7番地 体育協会 「スポーツ大学講座」係 ■1/8必着
りぶら国際交流センター 23-3148			
3月11日(木)	14:00~16:00	チャットサロン「フィリピンについて話そう」 タガログ語スタッフがフィリピンを日本語で紹介	■無料 ■定員15名(先着順) 2/12~電話で申込。
3月2・9・16日(火)	14:00~16:00(全3回)	ことばの教室 中国語 初心者向け語学講座	■無料 ■定員18名(先着順) ■3日全て参加できる方 ■2/12~電話で申込。
4月4・11・18日(日)	14:00~16:00(全3回)	ことばの教室 タイ語 初心者向け語学講座	■無料 ■定員18名(先着順) ■3日全て参加できる方 ■3/14~電話で申込。
5月9日(日)	14:00~16:00	ワールドレクチャー ネパール 日本語で母国の紹介	■無料 ■定員40名 ■電話で申込(4/11~)
5月14・21・28日(金)	14:00~16:00	ことばの教室(グルジア語)	■無料 ■定員18名 ■4/11~受付

女性相談のご案内…ひとりで悩まないでご相談ください

市民活動総合支援センター 23-7644			
女性相談	毎週金曜日 10:00~15:20	面接相談(要予約)	23-3241
女性のための法律相談	月2回(第2火・土) 14:00~16:00	要予約	23-3241
電話相談	毎週木曜日10:00~12:00、13:00~15:00		23-3113

#### 市民活動団体の定例活動情報

団体名	日時	内容	場所	連絡先
童謡・唱歌の会 はなみずき	月3回金曜日 10:00~	■歌うことの好きな方 初心者大歓迎、お友達づくりに♪	スタジオ1	アクア事務局 080-3615-1349
アロマヨガ	隔週月曜日 10:00~	■香りに包まれてヨガをしよう	スタジオ1	おかざきLOHASの会 柴田090-6597-5588
おとなが楽しむ 朗読の集い	第2・4火曜日 18:30~20:00	■あなたの声を活かして、本を読んでみませんか	201会議室	■500円(飲物お菓子つき) まみむめもクラブ 築25-5197
気功太極拳	毎週木曜日 10:00~	■始めてみませんか 気功太極拳	スタジオ1	日本健康太極拳協会 岡崎鶴の会21-1568
楊名時太極拳 りぶら教室	毎週火曜日 10:00~11:30	■ゆっくり動き、深い腹式呼吸で気血の流れを促進し、健康な身体作りをしましょう	スタジオ1	りぶら教室 師範 村松美智子58-3396
日本画研究会	毎週木曜日 14:00~16:00	■日本画、水墨画を描いてみませんか	創作室	日本画研究会 連絡先:稲森52-0719
3Bふれあい ビクス	隔週火曜日 10:30~	■3Bふれあいビクス	りぶら	■未就園児親子 ■電話・ファクスで 森 TEL・FAX55-2274
Photo翔 18:30~21:00	月1回金曜日	■撮影技術の向上、作品の公開	会議室	Photo翔 藤田 45-7797

LSCの事業です

その他のイベント情報

日付	時間	催事名	場所	主催・問合せ先/その他
11~3月の金曜日(全5回)	10:00 0歳児 11:00 1~3歳児	3Bキッズランド(ベビー親子ふれあい体操)後期会員募集	りぶら	共通■2500円 ■20組■電話・FAXで ■鈴木 TEL・FAX43-4785
12/23(祝)1/24・2/21・3/28(日)	10:00~	ゲームで楽しむキッズイングリッシュ ■500円 ■各15人 ■小学1~4年生	りぶら	■箕浦TEL080-1551-1967■E-mail ryoko-may14@docomo.ne.jp
3月2日(火)	13:30~	ベビーマッサージ体験会	りぶら	■一歳以下親子10組 ■500円 ■育遊空間べる★す~ず 村田 メールで info@berceuse.in
3月11日(木)	13:45開場 14:00上映	第3回 シネマ・ド・りぶら 映画上映会 世界映画市場普及の名作 「禁じられた遊び」 ♪ナルシソ・イエペスの奏でるギターの調べに乗せて♪ 13:15から番号札を配布します	ホール	■サロン・ド・シネマ(ホワイエ) 13:15~17:00 ■「禁じられた遊び」テーマ展示 3/4~16/ポピュラーライブラリー ■問合せ:市民活動センター内 りぶらサポータークラブ事務局 23-3114
	15:30~16:10	調べ学習発表会:森崎健二 「たかが映画、されど映画」	ホール	
【ボランティアコーディネーター養成セミナー】 愛知県主催「NPOアドバイザー設置事業」 当日会場受付にて申込				
3月13日(土)	10:00~12:30	ボランティアコーディネーター入門 講師&アドバイザー:織田元樹氏 ボラみみより情報局 代表	ボランティア室	■無料 ■定員:25名 ■対象:ボランティア希望者 コーディネーター希望者
【ボランティアコーディネーター養成セミナー】 りぶらボランティアガイダンス 場所:ボランティア室 定員:25名 無料 申込:当日直接会場受付にて				
3月15日(月) 13:30~16:00	■イベント・市民活動団体サポート 内容:りぶらサポータークラブ及び岡崎まち育てセンター・りたの活動 講師:りぶらサポータークラブ/岡崎まち育てセンター・りた		■対象:イベントボランティア希望者 コーディネーター希望者	
3月16日(火) "	■託児サポート 内容:託児とボランティア 講師:りぶらっこ☆ふぁみりー		■対象:託児ボランティア希望者 コーディネーター希望者	
3月18日(木) "	■図書館サポート 内容:図書館の仕事とボランティア 講師:岡崎市立中央図書館職員		■対象:図書館ボランティア希望者 コーディネーター希望者	
3月19日(金) "	■施設サポート 内容:りぶら施設管理の業務概要 講師:岡崎市図書館交流プラザLibra総務職員		■対象:施設サポートボランティア 希望者 コーディネーター希望者	
3月20日(土) "	■福祉ボランティア 内容:福祉ボランティアの活動内容紹介とりぶらで必要になりそうなボランティア 講師:岡崎市社会福祉協議会		■対象:福祉ボランティア希望者 コーディネーター希望者	
3月18日(木)	10:00~12:30	男の料理教室 定番中華メニュー、天津飯をつくろう	調理室	■16名 ■1,470円 ■NPO法人食育推進ネットワーク 黒柳58-8069
3月20日(土)	セミナー 10:00~12:00 個別相談 13:30/15:30 (各一時間)	事業報告書セミナーと NPOアドバイザー(専門)個別相談 わかりやすい事業報告書・会計書類で、 活動の理解を獲得しましょう 講師&NPOアドバイザー 佐野 真	りぶら	■セミナー:10名程度 個別相談:2団体まで ■無料 ■申込:りぶら市民活動センター TEL23-3114 fax23-3142 2/22~
4月15日(木)	10:00~11:30	アロマで春の不調を吹き飛ばそう! 症状別アロマミストづくり	和室	■1,200円 ■8名 ■ナチュラルセラピーネットワーク 虹のたね 相川 080-5048-1131



図書館交流プラザリぶら・2階

## TIGER CAFE OKAZAKI

TEL 0564-73-6431

定休日：水曜日

営業時間：

日～木/9:00～22:00

金・土 /9:00～24:00

L.O/30分前

リぶら2階東口を入ると、左手にお洒落なカフェレストランTIGER CAFE があります。メニューに並ぶのは、軽い喫茶から本格的なコースまで、本格フレンチレストランで長年腕を振ったシェフが作る自慢料理の数々。

市民活動団体や趣味のグループでの懇親会や、お友達同士やご夫婦でゆったりと食事をされる方々など、リぶらを訪れる多くの皆さんの憩いの場となっています。

### ☆モーニングセット ¥500 (オープン9時～10時30分)

料理をメインにお飲み物がセットになるというスタイルで、ホットサンドセットとサラダセットの2種類が用意されています。ボリュームたっぷりで、朝から大満足まちがいなし！

### ☆週替わりランチセット ¥950 (11時～15時)

お肉かお魚の2種類のメインに、サラダ・プチスープ・ドリンクがセットになります。

ランチをご注文のお客様に限り、プチデザートサービスがあります!!  
図書館で本を借りた際に発行される、図書貸出し用紙 (発行当日分) をご提示ください。

### ☆アフタヌーンデザートセット ¥800 (14時～17時)

自家製ケーキ・クリームブリュレなどのデザートとドリンクのセット。

デザートセットの他にも、食パン半斤を使ったハニートーストや季節のパフェなども大人気。

### ☆17時からディナータイム

牛ホホ肉の赤ワイン煮込みや鴨肉のローストは、シェフおすすめの一品です。単品のみではなくコースもご用意しており、特に¥1,500のコースは、前菜・メインディッシュ・デザート・コーヒーの、たいへんお得なセットです。

リピーターの方も多く、とても満足していただいております。

### ースタッフよりー

日頃はリぶらのご利用とともに、タイガーカフェへのご来店、まことに有難うございます。  
オープンして、まもなく一年半が経とうとしています。ここで初心に帰り、図書館の一施設ということを再認識するとともに、皆様に親しみを持ってご利用をいただける店づくりを心がけていきたいと思っております。



LSCプロジェクト紹介

## デジタル映像活用Ⅱ

### A プロジェクトの目的

LSCでのデジタル映像関連プロジェクト活動の目的は、平成18年度から一貫して次の3つでした。

- 1) 歴史・文化・町並みを保存するために、市民に呼びかけて地図や写真を探します。
- 2) 城下町岡崎の誇りと郷土愛を育むために、デジタル変換した映像を活用して多くの機会に紹介する啓蒙活動をおこないます。
- 3) 映像情報量は書籍に劣らないので、Libraにおいて映像を検索できるようなシステムの研究をしていきます。

### B プロジェクト活動の足跡

- 1) 平成18年度は、新図書館の機能などを探す目的として「岡崎探検隊」を立ち上げ、岡崎市内の名所の確認や、それらに磨きをかける活動をしてきました。
- 2) 平成19年度の「デジタル城下町作成プロジェクト」で、A4クリアファイルに旧岡崎城郭絵図を印刷し、城北中学校生徒の発想などを織り込んだポイントを現在地図に記したグッズをつくって、旧岡崎城内探検ウォークラリーを実施しました。その直後(H19.11.04)中日新聞朝刊第一面で「大林寺郭堀の二段石垣出現・国内4番目の城郭規模」と大々的に報道され、このグッズが岡崎市民に大きな反響を呼びました。
- 3) 平成20年度の「デジタル映像活用プロジェクト」活動は、前年度までに収集した岡崎の昔の映像を駆使して、できる限り多くの機会に、市民に岡崎市の生い立ちや歴史を紹介する活動をしてきました。

### C H21年度プロジェクト活動の概要

平成21年度は「デジタル映像活用Ⅱプロジェクト」として、Aで述べた目的別に次のような成果を得ることができました。

- 1) 映像の発掘のためのプロジェクトチームの情報交換などで、以下の絶滅危惧種の映像を発掘しました。

- ・ 矢作橋の映像
  - ・ 中根家所有岡崎城絵図
  - ・ 岡崎城惣構調査結果(連尺物語より)
  - ・ 松坂屋開店当時の街の様子(松坂屋販売促進担当者様)
- など、多くの映像を発掘してデジタル保存することができました。  
これらの映像情報を提供していただいた皆様に感謝いたします。



- 2) 多くの機会に収集した映像を紹介しました。

主なものは以下のとおりです。

- ・ 岡崎南ロータリークラブでの卓話
- ・ 梅園小学校6年生の授業と岡崎二十七曲りまち歩き
- ・ 街情報センターでの説明会
- ・ 秋の岡崎市民まつりに参画
- ・ 図書館まつり
- ・ 愛知学泉大学生への授業や街歩き
- ・ OAC試作のタイムスリップツールの提供
- ・ CTVミクス・中日新聞・籠田公園再生ワークショップなど。



紙面の都合で日時や参加人数などの詳細は略しましたが、  
多くの市民から、このプロジェクトへの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。

- 3) 映像の持つ情報量は、書籍1冊分のそれと勝るとも劣らないことを、多くの方々にわかっていただけるような啓蒙活動をしてきました。  
映像検索システムをつくるには、映像データバンクを構築することが欠かせません。今後は、「映像データバンク構築への研究」を進めていきたいと考えています。



リーダー：木村剛也

## 岡崎むかし語りの会

知っていました？ 『おかざきのむかしばなし』

今からおよそ40年前、高度成長によって故郷に伝わる文化が失われていくことに危機感を持たれた教育関係者の方々によって、さまざまな保存活動がなされました。その一つに『おかざきのむかしばなし』の採集・再話・刊行があります。しかし、その本がどれだけ知られ、活かされているでしょうか？

私たちは、このふるさとの宝を皆様に伝えたいとの想いから「岡崎むかし語りの会」を立ち上げ、さまざまな場を頂き語ってきました。昨年1月からは、りぶら「むかし館」で、月1回定期的に語っています。

今後は中心地区だけでなく、より広い地域で伝え広げていく活動ができたらと思っています。ぜひ、そんな場所をご紹介下さい。 リーダー：荒木一枝



LSCを一人の学生が訪れました。NSCデザイン工科カレッジ2年の市田奈緒子さんで、卒業制作の対象に岡崎むかし語りの会を選び、りぶら・岡崎むかし館で1月第4木曜日に開かれた“岡崎のむかしばなし・紙芝居”を取材されました。

根っからのおかざきっ子の市田さんは、卒業制作のテーマのキーワードに岡崎を選びました。そして、旧図書館の近くに育ち身近な存在だった岡崎市図書館が新しく

なり、そして、りぶらになったけれど、「知っているけど行ったことがない」という友人たちの評価なのに動かされて、どう変わったんだろうとりぶら館内を歩きまわったといいます。その間、昔のいい雰田気を残す八帖町・八丁味噌にも出向いたけれど、結局、むかし館に注目し卒業制作の題材に絞り込みました。話をお聴きするうちに、岡崎の良いところ、りぶらの事をみんなに伝えていきたいという市田さんの思いが伝わってきました。

岡崎を愛する市田さんの心とりぶらとの間に接点があったことの嬉しさとともに、古い岡崎だけでなくこれからの岡崎を託せそうな輝きをその目にみた気がし、どのような卒業制作が完成するかぜひ拝見したいと思いました。(ふ)

## ひざかけ作り

りぶらのオープニングを飾った巨大モチーフを解体し、ひざ掛けに作り直して施設に寄付をしました。「働く婦人会館」で活動していたグループが、りぶら建設のワークショップに参加し、続いている活動です。

平成21年度は、毎月第2木曜日の午前10:00～午後2:00の活動で、モチーフをつなぎ合わせひざ掛けを作ってきました。モチーフをつなぎ合わせるように、人と人をつなぎ合わせる活動にしていきたいと思っています。

リーダー：稲森禮子



## 調べ学習講座

「おかざき図書館倶楽部」で、2005年から毎年開催してきた「調べ学習講座」です。「おかざき図書館倶楽部」から「りぶらサポータークラブ」の主権に移行する間に、図書館主催の講座としても2回開催してきました。

今年度は、2008年度の後期に開催された図書館講座参加者を主に、調べ学習を、より精度の高いものにするための講座として進めてきました。参加者4名のうち3名が、NPO法人「図書館の学校」主催の第13回“調べる”学習賞コンクール」に応募し、以下の成績を収めました。

奨励賞：柳由美子

「岡崎の昔話『お田植観音』の紙芝居制作と三河弁での発表 一紙芝居が出来上がるまでの道のりー」

佳作：長坂 進

「自転車考 一素晴らしきかな自転車ー」

佳作：森崎健二

「たかが映画、されど映画 一私の映画体験ー」

リーダー：戸松恵美

LSCプロジェクト紹介

託児サポート **りぶらっこ☆ふぁみりー**

岡崎市、主にりぶらの乳幼児室で託児をすることにより、中央図書館やりぶらの活用を促進し、市民の生涯学習を推進することを目的に活動してきました。週2回の定期託児システムが軌道に乗ってきたので、今後は、託児回数の増加、講座やイベント時の託児依頼に備え、スタッフの託児活動のレベルアップを図りつつ、利用者の親子との交流や子育てに役立つような企画を立てていきます。

リーダー：山田美代子

◆りぶら乳幼児室での定期託児

(りぶらを利用する方の託児)

日時：毎週月曜日、金曜日 10:00～11:30  
 費用：500円 (延長・11:30～12:00 200円)  
 対象：首が据わってから就園前までのお子さま  
 定員：10名  
 予約、申込：市民活動センター 23-3114

託児の人数

平成20年11月～平成21年11月まで  
 0歳～3歳児 549人



スタッフ5人が待機しています

◆ちょい抱っこ、見守り隊 6月～

子ども図書館でのちょっとしたお手伝いや  
 乳幼児室での見守り



ちょい抱っこ利用者 延べ310人親子 (25回)  
 見守り (午後2時間) 延べ1457人の親子が  
 乳幼児室を利用 (53回)

◆親子お楽しみ交流会

「親子で楽しむリトミック」



7月から4回実施 延べ49組の親子が参加

◆講演会、勉強会

講演会「子どもの発達と遊び

～子どものちからを見つけよう～

日時：11月19日 (木) 10:00～12:00

場所：りぶら303会議室

講師：山田光治氏

参加者：18人+託児スタッフ3人、子ども3人  
 勉強会

- ・「気になる子どもへの対応と親支援を考える」  
 19日の講演会の午後、山田光治氏を講師として  
 スタッフが勉強をしました。
- ・「現代のお母さんの子育て意識を学ぶ」  
 2月16日 (火) 10:00～12:00  
 講師：藤田光子氏 (子育て支援センター職員)



◆定期託児以外の託児

りぶらで活動する市民団体やりぶら以外での  
 イベントの託児も引き受けました。

市民団体「母里ん子」の講演会での託児

託児者数 9名

保健所のイベントでの託児

託児者数 11名

# 冬のコンサート



普段は通路となっているお堀通りも、素敵な舞台となります。

音楽ってむずかしい？ 堅苦しい？

いいえ。コーラスもオペラも、本当はもっと身近で楽しいもの♪

クリスマスの近づく12月19日に、りぶらのお堀通りで冬のコンサートが開催されました。演目は、午前にクリスマスソング、午後に童謡。そして夜に、オペラ「フィガロの結婚」。

普段通路として使っている階段を舞台にして、あまり馴染みのない、けれどどこかで聞いたことがあるメロディが流れる一日。普段コンサート会場に入れさせてもらえないような小さなお子さんにも、楽しんでもらえたようです。皆さんのクリスマスは、いかがでしたか？

このように、「図書館で合唱とオペラ」という意外性のある企画も、りぶらサポータークラブでは、りぶらを利用する市民活動団体の皆様との協働事業として、新たな視点での活用を考えています。

担当：山田美代子



# 缶ドルナイト

全国的なイベントとして周知されている「100万人のキャンドルナイト」にならない、りぶらのオープニングイベントとして実施した「空き缶ドルナイト」。今年はNPO都市再生協議会主催の「家康公生誕の日」との協働で、12月26日（土）の夜に開催しました。

12月20日から、りぶら利用者みなさんと作った空き缶ドル120個を、りぶら東口のエントランスに並べ、午後5時に点灯。風が強く寒い夜でしたが、空き缶からほのかに見える灯りに、ほっこりなごむひとときを過ごしました。次年度は夏至にも実施したいと思います。

担当：戸松恵美



「岡崎市図書館交流プラザ Libra（りぶら）」が、「第17回愛知まちなみ建築賞」を受賞しました。

この賞は、美しい愛知づくりを目指して、良好なまちなみ景観の形成や、魅力と潤いのあるまちづくりに貢献すると認められる建築物またはまちなみを表彰するもので、愛知県建設部公園緑地課の企画で、平成5年度から実施されています。今回、「りぶら」を含む7作品が受賞しました。「りぶら」は、中心市街地活性化の拠点として、都心部での新たな知的活動と賑わいを生み出す歩行者回遊空間を、建築プログラムと一体化させて造りだしたアーバンデザインとして評価されました。

城下町・宿場町として栄えた岡崎市には、寺社や史跡なども数多く現存しています。また、ぶらりと町を散策すれば、ひと昔前の日本映画にでも出てきそうなレトロな建物に洗濯物が干してあるし、「健康ランド」ではない「風呂屋」の煙突から、もくもくと煙が立ち上っています。そのような味わい深い岡崎市の町並みも好きですが、今回、新しい建物でもこのような賞をいただけたことをとてもうれしく思います。

地域の文化や建物には、そのまま、そこに住む人たちの生活習慣や人となりが見えます。今回の受賞を聞いて、古き良きものを残しつつ、新しいものにも果敢に挑戦してゆく岡崎市民の一面が見えた気がしました。



(文・絵 きむらみわ)

### 「りぶらサポータークラブ」のご案内

図書館が好きな方、何かボランティアをしてみたい方、岡崎のまちが好きな方、文化や国際交流の発展を願う方など、いろいろな人が集まっています。りぶらサポータークラブを通じて、Libraをより身近に感じながら、一緒に、より魅力のある場にしていきませんか？

- Libraのサポーターの集まりです。
- 市民とLibraが協働して作り上げています。
- Libraがより活用されるよう考え、行動します。
- Libraでの利用者の活動をサポートします。
- 市民の生涯学習を応援します。

りぶらサポータークラブ・メールマガジンの登録はこちら↓  
[http://www.libra-sc.jp/official\\_organ/](http://www.libra-sc.jp/official_organ/)

### 会員募集

この会の趣旨に賛同し、お力添えをいただける方は、ぜひご入会ください。また、会の目的を達成するために、賛助・協力してくださる方々のお力が必要です。何卒、私たちの趣旨をご理解いただき、絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 個人会員： 年会費 2,000円
- (2) 団体会員： 年会費 2,000円
- (3) 賛助会員： 1口 1,000円（随時）

年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付けます。年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とし、納入された会費は、返却しないものとします。年会費は、名簿の作成・通信費等の会の運営費として使用し、賛助会費は、会の運営費を補うほか、事業実施等の経費として使用します。

### ● 編集後記 ●

海堂尊氏講演会の実行委員会に応募してからというもの、なんやかんやで、今こうしてLibra I onの編集に携わっている。一度の行動で、新しい世界が開けるのは感慨深いものだなあと、しみじみ感じる今日この頃。今後、「ぼく、この広報誌の編集してんだぜ！」と自慢できるように活躍していきたい。(鈴木)

Libra I on vol.8 2010/3/1発行 2008/11/1創刊  
 ◆編集・発行 りぶらサポータークラブ 広報部  
 〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地  
 岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内  
 りぶらサポータークラブ事務局  
 TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142  
 info@libra-sc.jp http://www.libra-sc.jp/